

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立羽生実業高等学校)

目指す学校像 社会に有為な産業人を育成する

Table with 2 columns: 重点目標 (1-3) and 内容 (わかる授業、伸ばす授業の実践と進路の実現を図る、地域に貢献する開かれた学校づくりを推進する、生徒指導を徹底し生徒のマナーアップを図る)

Table with 2 columns: 達成度 (A-D) and 内容 (ほぼ達成(8割以上)、概ね達成(6割以上)、変化の兆し(4割以上)、不十分(4割未満))

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

Table with 2 columns: 出席者 (学校関係者、生徒、事務局(教職員)) and 人数 (5名、3名、11名)

Main evaluation table with columns: 年度目標 (現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策) and 学校関係者評価 (実施日, 学校関係者からの意見・要望・評価等)